国語科で説明文を自己評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 段落の組み立て | 説明ことばの活用 | 資料の活用 |
| レベル３ | はじめ・なか・おわりという３つの段落で文章を組み立てていて、さらに、問いかけ・解説・まとめという流れでわかりやすく説明をしている。 | 事実と意見を区別して書いていて、さらに、逆につなぐ言葉や順序を述べる言葉、例をあげる言葉、引用をする言葉を使っている。 | 自分がいいたいことの証拠になりせっとく力を高める資料を自分で集めて、それをわかりやすく引用しながら説明している。 |
| レベル２ | はじめ・なか・おわりという３つの段落で文章を組み立てることはできたが、問いかけ・解説・まとめという流れで説明できていないところがある。 | 事実と意見を区別して書けているが、説明ことばの中で使っていないものが多いので、せっとく力のある文章になっていないところがある。 | 自分で資料を集めて引用しながら文章を書くことができたが、説明の正しさを示す証拠や理由がはっきりしていないので資料の価値が低い。 |
| レベル１ | 文章を、３つの段落や説明の流れで整理して書くことができていない。 | 事実と意見を区別して書けていないところがあり、説明ことばも使えていない。 | 自分の説明をわかりやすくする資料を集めることができなかった。 |

※この自己評価ルーブリックで、自分の作文をしっかりと見直して書き直そう！

　友だちと相互評価をしてアドバイスをもらい、自分の作文の書き直しに生かそう！

　作文の清書が終わるころには、レベル３が増えているように努力しよう！

国語科でインタビューを相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価観点 | １．内容構成 | ２．言語の活用 | ３．非言語活動 | ４．礼儀・マナー |
| 評価規準 | 相手の特徴を聞き出す効果的な質問がなされていて、応答に関連づけられた追加質問や掘り下げ質問がタイミングよくできている。 | 聞き出す技法として、話題の出し方、目的やめあての提示、共感の仕方、あいづち、具体例や経験談の提示、などが効果的である。 | 非言語コミュニケーションの技法として、アイコンタクト、うなずき、表情、手振り・身振り、などが効果的である。 | インタビューで必要な礼儀・マナーとして、あいさつ、丁寧語の使用、お礼の言葉、正しい姿勢、時間厳守、などの項目を守って実施できている。 |
| 判断基準 | レベル３ | 相手の特徴をとらえた効果的な質問と応答がくり返されていて、内容的に深まりがある。 | ５つの言語活用上の工夫点のうち、３つ以上の技法を表現力豊かに活用している。 | ４つの非言語活動上の工夫点のうち、３つ以上の技法を表現力豊かに活用している。 | ５つの礼儀・マナー上の工夫点のうち、４つ以上の技法を表現力豊かに活用している。 |
| レベル２ | 相手の特徴をとらえた質問がされているが、質問と応答の深まりがなく、聞いて答えるだけになっている。 | ５つの言語活用上の工夫点のうち、３つ以上の技法を活用しているが、活用する回数が少ない。 | ４つの非言語活動上の工夫点のうち、３つ以上の技法を活用しているが、活用する回数が少ない。 | ５つの礼儀・マナー上の工夫点のうち、３つの技法を活用しているが、活用する回数が少ない。 |
| レベル１ | 事前の下調べが十分ではなく、相手の特徴をしっかりと聞き出していない。 | ５つの言語活用上の技法のうち、１つまたは２つだけを活用している。 | ４つの非言語活動上の技法のうち、１つまたは２つだけを活用している。 | ５つの礼儀・マナー上の工夫点のうち、１つまたは２つだけを活用している。 |

※レベル１を１点、レベル２を２点、レベル３を３点として採点し、最高点を12点、最低点を４点とする。

算数科で発表スピーチを相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 発表の組み立て | 説明ことばの活用 | 学んだことの活用 |
| レベル３ | まず・次に・最後にということばを使って３段階でわかりやすく説明したり、習ったこと・考えたこと・わかったことに分けて発表したりしている。 | 授業で習った算数で使う５つの説明ことばを全部使っていて、わかりやすくなっとくできる発表ができている。 | 授業で学んだ公式や用語の活用の仕方を説明に組み入れていて、さらに、思考や説明の技を使っているので発表がわかりやすい。 |
| レベル２ | 大きく３段階でわかりやすく説明できているが、習ったこと・考えたこと・わかったことに分けて発表していないのでわかりにくい。 | 授業で習った算数で使う説明ことばを３つか４つ使っていて、わかりやすくなっとくできる発表ができている。 | 授業で学んだ公式や用語の活用の仕方を説明に組み入れているが、思考や説明の技をあまり使っていないのでわかりにくい。 |
| レベル１ | 説明の組み立てがあいまいで、答えは出ているがどうやって習ったことを使って問題を解いたのかわかりにくい。 | 授業で習った算数で使う説明ことばをあまり使っていないので、筋道がはっきりしたわかりやすい発表ができていない。 | 問題を解くときに考えた式や答えをしっかりと発表しているが、そのわけや考え方のよさと正しさなどを発表してない。 |

※友だちの発表を聞いて、評価してあげよう。

　評価の観点にそって、具体的なアドバイスや改善の方法を教えてあげよう。

　前回の発表よりじょうずになっていたら、ほめてあげよう。

※５つの説明ことばとは、

　①でもこのままだと比べられないので、

　②グラフのここに注目してください。

　③なぜなら、～～だからです。

　④ここで使える公式は、～ですよね。

　⑤ここまでいいですか？

※思考や説明の技とは、

　①もし、～～だとするとこれはおかしいことがわかります。

　②４つの中でこれはおかしいので、消します。

　③これを公式にあてはめて考えると、この体積は～～になります。

　④これら２つのことを合わせて考えると、～～であることがわかります。

　⑤○○さんの考え方がまちがっているところは、～～です。

数学科で生徒による発表を相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 発表内容の構成 | 論証言葉の活用 | 既習事項の活用 |
| レベル３ | まず・次に・最後にということばを使って３段階でわかりやすく説明したり、既習事項・解決プロセス・まとめに分けて発表したりしている。 | 授業で習得した数学科で使う５つの論証言葉を全部使っていて、わかりやすく納得できる発表ができている。 | 授業で習得した公式や用語の活用の仕方を説明に組み入れていて、さらに、思考や説明のモデルを使っているので発表がわかりやすい。 |
| レベル２ | 大きく３段階でわかりやすく説明できているが、既習事項・解決プロセス・まとめに分けて発表していないのでわかりにくい。 | 授業で習得した数学科で使う論証言葉を３つか４つ使っていて、わかりやすく納得できる発表ができている。 | 授業で習得した公式や用語の活用の仕方を説明に組み入れているが、思考や説明のモデルをあまり使っていないのでわかりにくい。 |
| レベル１ | 発表内容の構成があいまいで、答えは出ているがどうやって既習事項を使って問題を解いたのかわかりにくい。 | 授業で習得した数学科で使う論証言葉を使っていないので、筋道がはっきりしたわかりやすい発表ができていない。 | 問題を解くときに考えた式や答えをしっかりと発表しているが、その理由や考え方のよさと正しさなどを発表してない。 |

※友だちの発表を聞いて、評価しよう。

　評価の観点にそって、具体的なアドバイスや改善の方法を教え合おう。

　前回の発表より上達していたら、賞賛しよう。

※５つの論証言葉とは、

　①しかしこのままでは比較できないため、

　②グラフのここに注目してください。

　③その根拠は、～～です。

　④ここで使える公式は、～ですよね。

　⑤ここまでいいですか？

※思考や説明のモデルとは、

　①もし、～～だと仮定するとこれは矛盾していることがわかります。

　②４つの中でこれは条件に合致しないため、消去します。

　③これを公式にあてはめて考えると、この体積は～～になります。

　④これら２つのことを合わせて考えると、～～であることがわかります。

　⑤○○さんの考え方がまちがっているところは、～～です。

理科で学習成果を自己評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　つけ　　たい力力のレベル | １．実　験 | ２．ワークシート | ３．アクティブ | ４．態　度 |
| 仮説を立てたり、データを整理してとったり、自分の考えをまとめて発表することができる。 | ワークシートには、理科の用語を書いたり、図や絵を描いたり、仮説や自分のまとめを書くことができる。 | 学習のめあてを考えて、自分から進んで考えを発表したり、友だちと協力して実験をしたりしている。 | 実験の時に集中して安全に気をつけて取り組んだり、話し合いや発表の姿勢に気をつけたりしている。 |
| レベル３ | 友だちに教えたり、みんなの意見をまとめたりしながら、実験を進めることができた。 | これまでに習ったことを使って考えるだけでなく、自分なりのアイデアや考えを作って書くことができた。 | 学習のめあてをいつも考えながら、どうすればもっとよい実験になるか考えて取り組んだ。 | 実験のきまりを班のみんなに守るように注意したり、学習のルールを守ったりすることができた。 |
| レベル２ | 仮説→観察→記録→まとめ→発表の流れにそって自分の考えで進めることができた。 | ワークシートを全部うめることができ、これまでに習ったことを使って自分の考えをまとめられた。 | 授業中や実験のときに、自分から進んで取り組んだり、友だちと協力したりすることができた。 | 実験のきまりをしっかりと守って安全に気をつけ、聞く姿勢をしっかりととることができた。 |
| レベル１ | 自分の考えを持たないで、ときどき人まかせにすることがあった。 | 黒板のまとめやデータの記録を写すことはできたが、自分の考えはまとめられていない。 | 友だちからの指示を待っていたり、実験に参加しないでいたりしたことがあった。 | 友だちとふざけてしまったり、友だちの発表を聞いていなかったりしたときがあった。 |

※レベル１を１点、レベル２を２点、レベル３を３点として採点してみよう。

１．実　験　　（　　）点　２．ワークシート（　　）点

３．アクティブ（　　）点　４．態　度　　　（　　）点

合計点（　　　）／１２点

理科でグループ発表を相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 発表の組み立て | 説明ことばの活用 | 学んだことの活用 |
| レベル３ | 実験のめあて、仮説、方法、結果、考察、感想という流れがはっきりとしていて、わかりやすい発表になっている。 | 授業で習った理科で使う５つの説明ことばを全部使っていて、わかりやすくなっとくできる発表ができている。 | 授業で学んだものの特徴や用語の活用を説明に組み入れていて、さらに、思考の技を使っているのでわかりやすい。 |
| レベル２ | 実験のめあて、仮説、方法、結果、考察、感想という流れはあるが、具体的に書けていないのでわかりにくいところがある。 | 授業で習った理科で使う説明ことばを３つか４つ使っていて、わかりやすくなっとくできる発表ができている。 | 授業で学んだものの特徴や用語を説明に組み入れているが、思考の技をあまり使っていないのでわかりにくい。 |
| レベル１ | 実験のめあて、仮説、方法、結果、考察、感想という流れができていないので、発表内容がわかりにくい。 | 授業で習った理科で使う説明ことばをあまり使っていないので、筋道がはっきりしたわかりやすい発表ができていない。 | 問題を解くときに考えたわけをしっかりと発表しているが、そのわけや考え方のよさと正しさなどを発表してない。 |

※友だちの発表を聞いて、評価してあげよう。

　評価の観点にそって、具体的なアドバイスや改善の方法を教えてあげよう。

　前回の発表よりじょうずになっていたら、ほめてあげよう。

理科でプレゼンテーションを相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 内容 | 表現技法の活用 | チームワーク |
| レベル３ | 調査や実験の成果と課題が深い考察や意義づけとともに発表されている。全体構成もしっかりとしており、反論に対する配慮もある。 | 表現技法の活用に優れているだけでなく、聞き手とのコミュニケーションがとれており、相互啓発の空間が構成されている。 | 内容構成、資料作成、発表の各場面でチームワークがよく発揮されている。メンバーの個性が見える発表である。 |
| レベル２ | グループで調査したり実験したりしたことが、構成よく整理されて伝えられている。 | 資料作成、役割分担、明瞭な発声、主張点の明確化、時間管理などの点で優れている。 | 内容構成、資料作成、発表の各場面でチームワークがよく発揮されている。 |
| レベル１ | 発表内容に深い考察や意義づけがなされていないために、表面的な紹介に終わっている。 | 調査や実験の計画と評価の記述に明瞭さや根拠が十分に見られない。 | 内容構成、資料作成、発表の各場面でチームワークが十分に発揮されていない。 |

※各班の発表を聞いて、相互評価しよう。

　評価の観点にそって、具体的なアドバイスや改善の方法を教え合おう。

　前回の発表より上達していたら、賞賛しよう。

社会科新聞を自己評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | レイアウトの工夫 | 内容の深まり | 個性的な意見 |
| レベル３ | 段組のよさを生かして、タイトルや小見出しを工夫し、さらにイラストや写真などを入れたり、コラムやコーナーの配置をしたりして、読者が読みたくなり読みやすくする工夫をしている。 | 見たこと・聞いたことを記事にして書くだけでなく、思ったこと・不思議なこと・ユニークなことなどを、その理由や歴史にもふれながら記事を詳しく書いている。 | 本や資料に書いていることやインタビューしたことをまとめて記事にしただけでなく、自分の考えや意見、自分で作ったアンケートの結果、自分の言葉で書いた編集後記などがある。 |
| レベル２ | 段落を３つか４つに分けて見やすくする工夫やイラスト・写真を入れたりしているが、記事の文章が多くて、読者の立場に立ったレイアウトの工夫が少ない。 | 見たこと・聞いたことを記事にして書くだけでなく、思ったこと・不思議なこと・ユニークなことなども記事にして書いている。 | 本や資料に書いていることやインタビューしたことをまとめて記事にしただけでなく、自分の考えや意見、自分の言葉で書いた編集後記などがある。 |
| レベル１ | 記事の文章が多くて、読者の立場に立ったレイアウトの工夫が少ない。 | 見たこと・聞いたことを記事にして書いている。 | 本や資料に書いていることを短くまとめて記事にしている。 |

※この自己評価ルーブリックで、自分の作文をしっかりと見直して書き直そう！

　友だちと相互評価をしてアドバイスをもらい、自分の作文の書き直しに生かそう！

　作文の清書が終わるころには、レベル３が増えているように努力しよう！

社会科の地域研究で自己評価をするためのルーブリック

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 目標と課題の設定 | 計画づくり | 活動の充実度 | 内容の深まり | チームワーク |
| レベル３ | 地域研究を通して身につけたい資質・能力を複数にわたり明確に決めることができた。また、学習課題についても高度なことに挑戦し、具体的にグループで決めることができた。 | 地域研究の計画段階に含まれる多くの活動に積極的に集中して取り組むことができた。グループで設定した研究課題が地域社会の深い理解につながることを十分に検討した。 | 地域研究に含まれる多くの活動に積極的に集中して取り組むことができた。グループの提案で意義ある研究課題を達成しつつあり、大きな充実感を感じている。 | この単元で学んだ基礎的な知識や情報を活用して、自分たちの地域の特色を明らかにし、さらに観点を明確にして他地域との比較も行おうとしている。 | 地域研究のどの段階でもしっかりと意見を出し合って協力して進めることができ、メンバー全員の個性や持ち味が生かせて達成感が高まった。 |
| レベル２ | 地域研究を通して身につけたい資質・能力を明確に決めることができた。また、学習課題も具体的にグループで決めることができた。 | 時間や難易度、役割分担、調査方法の決定など、計画段階で必要な作業に集中して取り組むことができた。 | 資料収集、体験活動、広報活動などに集中して取り組むことができて、充実感を感じている。 | この単元で学んだ基礎的な知識や情報を活用して、自分たちの地域の特色を明らかにしている。 | 地域研究の企画・実践のどの段階でも、メンバー全員で協力して進めることができた。 |
| レベル１ | 学習課題を事前に具体的にしっかりと決めきれなかったために、目的や意義があいまいなままであった。 | 計画段階で必要な活動のいくつかでは、全員で集中して取り組むことができないことがあった。 | プロジェクトに含まれる活動のいくつかでは全員で集中して取り組むことができないことがあった。 | 自分たちの地域の特色を明らかにするときに、資料やインタビューの内容をそのまま要約している。 | ときどきメンバー間の意見の食い違いが解消できず、協力関係が弱くなるときがあった。 |

外国語科で日本文化の紹介文を相互評価するためのルーブリック

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　評価の観点評価のレベル | 内容構成 | 新出英語の活用 | 個性的な紹介 | 正確さ |
| レベル３ | 話題の提供、日本文化の紹介、海外の文化との比較、誘いかけ、結語という流れで、構成の明確な英文になっている。 | この単元で新たに学んだ単語や熟語、文法と既習事項を組み合わせて活用して、わかりやすい文章が書けている。 | 例文やガイドブックにはない、自分の体験やものの見方に基づく個性的な紹介の仕方を工夫している。 | スペリングや時制、単数・複数、三単現の変化などの点から正しい英文が書けている。 |
| レベル２ | 話題の提供、日本文化の紹介、海外の文化との比較、誘いかけ、結語という流れの基本は守れている。 | この単元で新たに学んだ単語や熟語、文法を活用してわかりやすい文章が書けている。 | 例文やガイドブックの表現を書き換えながら、個性的な紹介の仕方を工夫している。 | スペリングや時制、単数・複数、三単現の変化などの点から、５箇所程度の間違いがある。 |
| レベル１ | 話題の提供、日本文化の紹介、海外の文化との比較、誘いかけ、結語という流れが明確になっていない。 | この単元で新たに学んだ単語や熟語、文法を十分に活用していない。 | 例文やガイドブックの表現をそのまま使って、日本文化について英語で説明できた。 | スペリングや時制、単数・複数、三単現の変化などの点から、より多くの間違いがある。 |